

IPM実践指標(促成なす)

管理項目		管理ポイント	点数	チェック欄			
				昨年の実施状況	今年度の実施目標	今年度の実施状況	
予防	圃場その周辺の管理	圃場周辺の雑草を除去し、病害虫雑草の圃場内への侵入を防止する。	1点				
	土づくり	完熟堆肥の施用や、緑肥作物のすきこみによる土づくりを行い、病気に掛かりにくい強健な作物栽培に心がける。	1点				
	施肥管理	つるぼけにならぬよう生育初期での施肥は抑え気味に管理し草勢を見ながら、適正量を分施する。	1点				
	排水対策	排水が悪い圃場は暗渠排水の設置、通路や排水口を整備するなどの改善を行う。	1点				
	定植時期	適期に定植を行い、極端な早植はしない。	1点				
	栽植密度	適正な栽植密度とし、風通しをよくする。	1点				
	適正な換気	施設内が多湿にならないように適正な換気を行う。高温・多湿になる作型では、強制換気できる施設を設置する。	1点				
	栽培終了時の管理	施設内を蒸しこむ。生育株は株元で切断、もしくは抜き取り施設内で完全に枯らす。	1点				
判断	発生予察情報等の活用	病害虫防除所の発生予察情報等を参考にするなど、病害虫の発生動向を注視し、防除計画を作成する。	1点				
	気象情報の把握	週間天気予報等の気象情報を把握し、防除の要否を判断する。また、適期防除を心がける。	1点				
	トラップの設置	青色または黄色の粘着トラップを設置し、害虫の発生動向を把握することで防除の要否、防除時期の判断をする。	2点				
	病害虫の観察	近隣の作物や畦畔の雑草での病害虫の発生状況を確認し、圃場での発生を予測するなどの判断材料とする。 病害虫の発生状況を観察し、発生初期に薬剤散布を行うなど効果的な防除を行う。また発生が極めて少ない場合は捕殺や抜き取りを行う。	1点				
	土着天敵の確認	化学農薬を使用する場合は、その使用前で最低1回はクモ、寄生蜂等の当該地域に通常生息している天敵類の発生状況を確認する。	1点				
防除	耕種的防除						
	抵抗性品種の利用	土壌病害、線虫に対して抵抗性台木を利用する。	1点				
	病原菌密度の低減	開花後の花卉や罹病果は取り除き病原菌密度の低減をはかる。	1点				
	物理的防除	防虫ネットの設置	飛来性害虫の施設内への侵入を防止するため目合い0.4～1mmの防虫ネットを施設開口部に展張する。	1点 <sup>1)</sup> 2点 <sup>2)</sup>			
		粘着テープ等の設置	飛来性微小害虫を捕殺するため青色または黄色粘着テープ等を施設内に張る。	1点			
		黄色蛍光灯の設置	チョウ目害虫の施設内への侵入防止、産卵抑制のため黄色蛍光灯を設置する。	2点			
		土壌消毒	土壌病害、線虫に対して太陽熱利用土壌消毒、土壌還元消毒、熱水消毒等のいずれかで土壌消毒を行う。	1点			
	生物的防除	天敵昆虫の利用	アブラムシ類に対してコレマンアブラバチを放飼する。なお、この場合あらかじめバンカープラント(麦とムギクビレアブラムシ)を設置する。	2点			
			ハダニ類に対してミヤコカブリダニ、チリカブリダニを放飼する。	1点			
			ハモグリバエ類に対してイサエアヒメコバチ、ハモグリミドリヒメコバチを放飼する。	1点			
チャノホコリダニ、アザミウマ類、タバコナジラミ類に対してスワルスキーカブリダニを放飼する。			1点				
生物農薬の利用	灰色かび病の予防にバチルス・ズブチリス剤を定期的に散布する。	1点					

IPM実践指標(促成なす)

管理項目		管理ポイント	点数	チェック欄			
				昨年の実施状況	今年度の実施目標	今年度の実施状況	
防除	化学的防除	生物農薬の利用	ハスモンヨトウ、オオタバコガに対して生物農薬(BT剤等)を利用する。	1点			
		農薬の使用全般	作物の生育に併せ、十分な薬効が得られる範囲で最少の使用量となる最適な散布方法を検討した上で使用量・散布方法を決定する。	1点			
		粒剤の利用	育苗期後半、または定植時に粒剤等を処理する。	1点			
		薬剤の選択	天敵昆虫を放飼した場合、あるいは土着天敵が生息している場合には、土着天敵に影響の少ない選択性殺虫剤(気門封鎖剤、ピリダリル剤、シロマジン剤、IGR剤、BT剤等)を利用する。	1点			
			特定の薬剤、同系統の薬剤を繰り返し使用しない(気門封鎖系剤を除く)。	1点			
		飛散防止	農薬散布を実施する場合には、適切な飛散防止措置を講じた上で使用する。	1点			
その他	作業日誌	病害虫・雑草の発生状況、農薬を使用した場合の農薬の名称、使用時期、使用量、散布方法等のIPMに係る栽培管理状況を作業日誌として別途記録する。	1点				
	研修会等への参加	県や農業協同組合が開催するIPM研修会等に参加する。	1点				
				合計 点数			
				対象IPM 計			
				評価結果			

1) 目合い0.5mm~1.0mmの場合

2) 目合い0.4mm以下の場合